



吉美小だより

綾部市立吉美小学校
平成 30 年 6 月 20 日号

<学校教育目標>
<教育スローガン>

自立と貢献~夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成~
「笑顔・元気・夢いっぱい そして 思いやり」

小さなことの繰り返しから「校風」を！

梅雨に入ってから約2週間。雨が降りそうで降らない、そんな日が続いています。6月11日もそんな天候の日でしたが、高学年の児童がプール掃除をしてくれました。プールの周りや中をブラシでこすり、最後は雑巾がけです。まだ完成から数年のプールですので、掃除の後には新設のようにきれいになりました。「全校児童のためにがんばる」この姿も1つの「貢献」の姿です。

ところで、赴任して間もない頃から「吉美小学校の目印となっている蝶の看板」が気になり、「何という蝶で、なぜ蝶なのか」と思っていました。すると、先日ある児童が「僕のお父さんが吉美小学校の頃にオオムラサキ蝶を飼っていて、その時あの看板もできたんやって」と教えてくれました。今から20年以上も前のことだそうです。



たった1枚の学校の目印の蝶の看板。しかし、遠くから来校するものには、「吉美小学校は蝶の看板のあるところ」というイメージが根付いていました。少し色褪せていた蝶の看板は塗り直し、設置し直しました。

さて、綾部市の小中一貫教育を進めるにあたり、ブロックの校風作りがいられています。綾部中学校ブロックの目指している校風は「挨拶・掃除・くつ揃え」のできる学校です。吉美小学校でも玄関に入ってすぐに目に入る児童昇降口の下駄箱と傘立てが「きれいだな」といわれるよう日々、指導しています。教室で伝えるだけでは定着も難しく、児童が通った後の下駄箱を覗いて直したり、傘をまき直したりしていると、児童の方からも気がついて直しています。先日の雨の日も巻いてない傘は数えるほどでした。閉じていない傘は引っかかり壊れることにもつながります。口で言うだけでなく「率先垂範」を心がけ、その小さな繰り返しが「蝶の看板」のように学校に根付いてくれればと願っています。

「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」は、松井秀喜選手の座右の銘ですが、もともとウィリアム・ジェイムズ（心理学者、哲学者）の言葉です。保護者の皆様や社会教育等で児童に係わってくださる皆様も是非このことをご理解いただき、「挨拶・掃除」そして「履き物を揃える、傘を巻いてしまう。」ことへの家庭や地域での声かけにつつまして、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。
校長 亀井 貴子

「消防団吉美分団 団長点検から」

6月17日 団長点検にご招待いただき参加しました。開式の際に流れた吉美小学校校歌のアレンジされた入場行進曲に驚きました。短い時間でしたが、各種の訓練を間近に見せていただき、日々の訓練の様子がどれほど熱心なものかと拝察いたしました。吉美小学校でもできることはないかと考えながら参加させていただきました。

最後の実火災想定訓練の際、吉美小学校敷地内の地下防火水槽取水口を使用される様子から、そこに駐車することの危険性を感じ、すぐに黄色ペンキで目立たせておきました。日常的にカラーコーンで囲ってありますが、残念なことに休日明けにはすぐに移動されています。グラウンドを使用される皆様におかれましても、その危険性を共有していただき、取水口のマンホール上には絶対に駐車されませんようご理解とご協力をお願いいたします。（吉美分団の皆様の活動がないことが一番よいことと願いつつ。）

